

第20回

わんぱく相撲全国大会

選手宣誓は中村文哉君
(金沢チーム主将)



豪快な上手投げ決まる



北の湖大会名誉会長

古谷大会会長



大関・左から6年坂元、5年八藤、4年村田各君



横綱・左から6年長谷山、5年沢田、4年西山各君



団体優勝・東京選抜チーム



関脇・前列左から6年大道、5年牧園、4年平賀、後列左から6年林、5年小柳、4年野呂各君



団体3位・志摩チーム



団体準優勝・奄美大島チーム



小結・後列左から6年滝川、後藤、山本、綱谷、前列左から5年石松、内山、小川、大川、4年青山、真島、鈴木、田中各君

第20回わんぱく相撲全国大会 全国47都道府県の地区大会を勝ち抜いたわんぱく力士139チーム417名が勢ぞろい。7月25日午前8時10分から両国国技館で熱戦を繰り広げた。

開会式では、前日各相撲部屋に泊まりすつかり仲良しになったわんぱく力士たちが「ファイト! わんぱく相撲の大会曲に乗って元気よく入場行進。古谷真一郎大会会長が今年の大会テーマ「元気、本気、勇気」を、元気に挨拶し本気でぶつかり、勇気を持って全力を出し切りすばらしい思い出を作ってください」と挨拶。

北の湖大会名誉会長の激励に続いて石川県金沢チーム主将・中村文哉君がわんぱく相撲精神に則り正々堂々闘いますと元氣いっぱい選手宣誓をすると、詰め掛けた観客の父兄、友達から拍手と大歓声が沸き起こった。

9時10分試合開始 各地区大会を勝ち抜いた兵揃いとあそび多彩で大相撲顔負けのつり出しあり上手投げありつつちやうりありと接戦に次ぐ接戦で審判団協議取り直しは何番も見られた。

午後1時10分、会場全員が拍手のうち秋篠宮同妃両殿下をお迎えして、わんぱく横綱土俵入り。西から前年度4年生横綱・福田秀一郎君、宇城子一(ム)東から前年度5年生横綱・中村武雄士君、宇城子一(ム)が堂々の雲竜型を披露。会場から「日本一!!」の声がかかり、秋篠宮ご夫妻も盛んに拍手を送られた。

午後4時15分「チョン」と木が入ってベスト8の激突。選手が紹介され塩をまきナリをきるその一挙一動に緊張が高まり大会は最高潮に達した。結びの一番は長谷山正典君(東京選抜)と坂元元規君(奄美大島)の共に100 を超える巨漢

対決。終始攻め続けた長谷山君が4年生以来2年ぶりの日本一に輝いた。

東京選抜チームは5年生の沢田日出夫君も横綱になり、6年生・長谷山君と2横綱を獲得。文部科学大臣杯、紫紺の団体優勝旗が20回という記念の大会で初めて「わんぱく相撲のふるさと」東京に戻ってきた。

大阪城子一(ム)中原将博君が弓捌きも鮮やかに弓取り式。終日大鉄傘に歓声がこだました記念大会は午後5時30分無事打出した。

閉会式では古谷大会会長、高砂実行副委員長から別項の入賞者に賞状、トロフィーが授与された。化粧回しをつけたチーム代表が二子山親方の音頭で威勢良く三本締め。ちびっ子力士たちの真夏の祭典、わんぱく相撲は今年も数多くの感動と思いを作り閉会した。

秋篠宮両殿下ご観戦 熱戦の記念大会



わんぱく相撲
全国大会実行委員会

【問い合わせ】 わんぱく相撲全国大会実行委員会
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-14-3 青年会議所会館2F
(社) 東京青年会議所内 担当: 嶋田、須之内
TEL 03-5276-6161 FAX 03-5276-6160
(「わんぱく相撲」は(社)東京青年会議所の登録商標です)



TOKYO JC NEWSは環境対応大豆油使用インキを使用しています



TOKYO JC NEWSは、古紙配合率100%再生紙を使用しています。